

元プロサッカー選手

播戸竜二

1979年生まれ。ガンバ大阪、ヴィッセル神戸などで活躍。日本代表も経験。2019年に引退。Jリーグ特任理事、WEリーグ理事なども務める。

サッカーの人じゃないな、どんな人なんだろう、と話しかけてみたら、すんなり受け入れてもらえて。その懐の大きさから、一気に好きになりました。ちょくちょく食事に連れていってもらったりもしたんですが、行くのは叶屋さんの行きたい店(笑)。こういう感覚がすごくありがたくて。だから何でも言えたり、何でも聞いてもらえる関係になれたんだと思います。

しかも、サッカーの話だけでなく、ファッションや食への関心も同じだった。僕自身はクラブ経営にも興味がありました。実際、叶屋さんたちが来てから、間違いなくクラブは発展したんです。ビジネスの世界の人の力は重要だな、と思いました。しかも、叶さんはヴィッセルでも専務から社長になり、今のアンファ어도専務から社長になった。いろいろ学ばせてほしいと思いましたよね。引退後、実は真っ先に会社を訪問させてもらっているんです。

もっと自分に力をつけて、叶さんにもサッカー界にも貢献できるよう頑張りたいです。

相師相愛

師匠か、恩師か、はたまた一生のライバルか。相師相愛ならぬ「相師相愛」ともいえるふたりの姿をご紹介します。
第61回は、サッカーがきっかけの縁。
Text＝上阪徹 Photograph＝太田隆生

メリルリンチって何ですか

2004年から13年間、ヴィッセル神戸で仕事をしていました。クラブハウスで挨拶したその日に、人なつこく声をかけてきてくれたんです。サッカーにまったく詳しくなかったんですが、おかげで彼を入口にして選手たちに溶けこんでいくことができました。

興味の幅が広くて、いろんなことを吸収しようとする。メリルリンチって何ですか、どうしてここに来たんですか、と私も質問攻めにされましたが、三木谷浩史オーナーにも日経新聞を読んでも、ビジネスを勉強してます、なんて言っていたみたいで(笑)。ただ、当時からストイックと一緒に食事をしてもお酒を飲まない。長く現役を続けられた理由のひとつでしょう。

クラブ経営やリーグ運営への興味は、チェアマンになりたい、サッカー協会の会長になりたい、という今の目標にもつながっています。でっかい夢は、彼らしくてとてもいい。みんながウィンになって、サッカー界も盛り上げられるような取り組みを、一緒にやりたいですね。

アンファード
代表取締役社長**叶屋宏一**

1966年生まれ。三和銀行(現三菱UFJ銀行)、メリルリンチ証券などを経て、2004年ヴィッセル神戸へ。'07年より社長。'17年にアンファード入社。'20年より現職。

**Mr. Bando****Mr. Kanaya**